

なんだ・かんだ

◆ 南海トラフ巨大地震 ◆

南海トラフは、駿河湾の富士川河口付近を基点として、御前崎沖まで南下し、その後南西に向きを変え四国の南岸沖を通過して九州沖に達する、ユーラシアプレートに乗った日本の本州の西南の下に、フィリピン海プレートが下に沈み込んでいるプレートの境界です。そしてここで起きる、東海、東南海、南海という3つの巨大地震が同時発生した連動型巨大地震のことを「南海トラフ巨大地震」と呼びます。先月内閣府でこの巨大地震による建物やライフラインなどの被害想定が発表されました。

交通では、東名高速道路と新東名高速道路は緊急車両通行可能まで3日。一般車両が通行出来るまで1ヶ月。その他の高速道路も一部又は全線で一時通行止めになり、高架部分や橋に大きな被害が出た場合は3ヶ月以上通行不能となる。

東海道・山陽新幹線は、全線が一時運休。三島(静岡)以東、徳山(山口)以西は、発生当日点検が完了して運行を再開出来る。そして、三島-徳山間も1ヶ月以内に運転再開できる。

電力は、原発と火力発電所は停止。電力需要の5割しか確保できず、全国で2710万件が停電となる。東海・近畿・四国では全体の9割程度が停電になる。1週間後に9割以上の停電が解消されるが、津波などの被害が大きい地域は停電が続くが、1ヶ月後には、電力需要の9割に回復する。

医療は被災地で受入れ困難な入院患者は15万人、外来患者は14万人に上り、治療の優先順位をつけるトリアージが実施される。重症患者は遠隔地の病院へ搬送が必要になるが、救急車が不足し搬送困難となる。停電と燃料不足が長期化すると在宅患者が死亡するケースもある。

通信では、固定電話は発生直後930万回線が不通になる。原因の大半は停電で、東海・近畿・四国・九州等では、回線の9割が使えなくなり、インターネットに接続できない地域もある。1週間後には電柱や電線の復旧が進み8~9割が通じる。携帯電話は発生直後の停電により東海・近畿・四国などで最大1割の基地局の電波が止まる。翌日には非常用電源が無くなる為、四国等では8割の基地局の機能が停止するが、3日後には基地局の9割が稼働する。

静岡県の被害想定は、直接被害額約20兆円、断水人口340万人、停電件数200万件、固定電話不通回線74万回線、1週間後の避難者数110万人と、愛知・大阪に次いで3番目に大きな被害が出ると予想されています。地震から1ヶ月を経過しても人口の3割に当たる120万人が避難所や親類宅などへ避難を強いられる。各市町村では避難者向けに約3日間の食料を備蓄しているが、不足する恐れもあり、国がおこなう物資輸送も道路被害によっては時間が掛かる。

この発表では1ヶ月以降の予想はされていません。また、一部でこの予想は「甘い」と指摘されているようです。

このところ日本全国で地震が頻発しています。30年以内に起こる確率が、東海地震が88%。東南海地震が7~80%。今日でも起こるかもしれません。「のど元過ぎれば熱さ忘れる」

3.11後少しずつ危機感が薄れてきています。この被害予想を見て、再度認識を新たに出来るだけの準備を怠らなければなりません。



■ 静岡県住宅リフォーム支援事業補助金 ■

今年度も静岡県から住宅リフォームに関して、「①65歳以上の高齢者の生活する住宅リフォーム」「②小学校入学前の子供の生活する住宅リフォーム」「③静岡県で生産された建築材料を使用したリフォーム」にたいして、補助金が出ます。昨年度もあつた事業ですが、本年度も実施が決まりました。

①と②は、リフォームの補助対象工事費100万円以上で、補助率は、補助対象工事費の10分の1で、限度額は15万円です。③については、材料の使用量により限度額が変わります。耐震補強工事と合わせると最大15万円となります。

受付は、平成25年4月8日から平成26年2月28日までで、申込受付は先着順となり、予算がなくなり次第、申込受付は終了となります。

当社で手続き代行致します。この期に是非お宅のリフォームをご一考下さい。

今年の春は、例年よりも寒暖の差が激しいように感じます。信州では、満開の桜の上にも、雪が降り積もり、住民も初めて見る春の珍事に驚く等、気温の変化に体も衣装もついて行きません。

そんな中、15日に公表された日銀の「さくらレポート」では、北海道から沖縄まで全9地域で景気判断が引き上げられました。アメリカを中心とした、世界経済の回復・株価の上昇・円安を受けた個人消費や企業の生産活動が戻りつつあると判断されたようです。

一方、円安によりナフサの価格が上昇している為、塗料などに使う溶剤(シンナー)の価格上昇の通知が相次いでいます。

静岡県内企業の今年度の業績見通しは、「増収増益見通し企業は22.4%と、前年を5.8%下回った」とのことです。年当初からアベノミクス効果の、実体経済への波及はこれからといった感じですが、毎年4月は、3月の決算を終え、何とか1年を乗り切った安堵感と、新たに始まる1年の不安と期待が入り交じって、落ち着かない月です。ゴールデンウィークを迎え、天気も気分もばつと晴れた五月晴れの日が続いて欲しいものです。

代表取締役 服部 敏一郎

新しい年度が始まりました。

新入社員紹介

● 周 凱翔(しゅう かいしょう) ●

今年4月1日に入社し、営業2課へ配属されました。「周凱翔」と申します。生まれは中国の温州で、現在25歳、彼女がいます。

出身大学は富士常葉大学 総合経営学部です。2009年4月に入学し、日本の経営学を学んできました。4年間の努力と、指導先生の親切なご指導を受け、今年3月18日に無事卒業し、社会人として活躍する資格を得ることができました。自費留学生として日本での生活費や学費の支払いなど大変でしたが、許される範囲内でアルバイトをしながら何とか卒業しました。

大学を含め、日本には5年間滞在しています。この間、私は日本語のレベルアップや大学学位を目指して努力を重ねました。本を読み、ラジオを聴き、そしてテレビを見てアナウンサーのセリフを暗唱することも勉強の手段として日常的に行いました。また、日本語教室に参加してボランティアの日本人と接触を増やすなど、様々な方法で日本語の上達に取り組みました。日本語が上達するにつけ、私は自身の日本の生活習慣や人文や社会、更に日本の政治や経済に対する認識や理解を一段と深めることが出来ました。そして、日本は素晴らしい国であり、自信を持ち頑張る人に成長する chance を与えてくれる国であると考え、日本で頑張る事を決めました。

まだまだ新参者で、皆様にご迷惑を掛けてしまうことが多々あると思いますが、死ぬ気で頑張らせて頂きますので、厳しくご指導の程よろしくお願い申し上げます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

・ 株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/